

たかがい 恵美子の活動報告

いどばたキャラバン

党主催の女性対話修会「いどばたキャラバン」が宮城県名取市で開催され、ゲストにお招きいただきました。「住人にとって必要なのは、加齢に伴う心身の不調や悩みを相談できる身近な窓口。医療や介護の手前にある日常の困り事に対応してほしい」との切実な声に、参加者みんなが大きく頷く場面もありました。こうした現実の議論を通して、具体的な政策を提言していきたいと考えています。



<http://www.jimin-miyagi.or.jp/?p=4210>

次代の資源エネルギー調達

再生可能エネルギーによる電力供給割合が徐々に増えています。地域創生と一体化して電力自給を実現する自治体や大規模蓄発電システムの実証を進める企業など、各地の取り組みが活発化しています。資源エネルギー調査会では、水素エネルギーの利用促進にかかる実験的な取り組みも含め、積極的に国内外の実情調査を進めています。



参議院が議員調査団を派遣

参議院は文教科学委員会を構成する議員等を宮城県・福島県へ派遣し、初等中等教育における防災安全教育カリキュラムの開発普及と心のケア実施状況、高等教育機関における医育並びに材料等最先端研究、2020 オリパラに向けたホストタウンの取り組み等の調査を行いました。教育・文化・科学技術の現状について幅広く、今後の審議の参考となる知見を得ることができました。

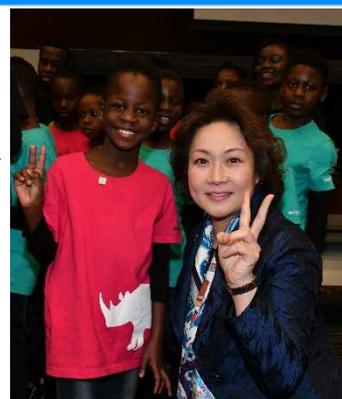


与党の責任「法案審議」

与党内では今国会への提出予定法案を巡って連日厳しい審議が続けられています。昨年来持ち越しとなっていた健康増進法改正案については、公共の場所での分煙から受動喫煙防止へとわずかでも踏み出す方向となりました。創設から16年余経てもなお課題は残されています。諦めず投げ出さず、難題をクリアすべくがんばって参ります。

Sings & wonders

エイズや内紛で孤児となった子どもたちの合唱団「watoto(わとと)」がウガンダから来日し、日アフリカ友好議員連盟との交流会を催しました。このチームは歌と踊りを通していのちの大切さを説き、未来への希望を強くしよう！と活動しています。



「たかがい塾」

看護系大学院の皆様との政策提言コンペは8年目に入りました。現状の課題分析から必要な政策を具体化していくプロセスは、地道で長い道のり。優秀な院生が悪戦苦闘しながら学びを深める様子は、とても頼もしく魅力にあふれています。すでに実現した政策もあり、成果に自信を持っていただけそうです。雑談の会も各地で展開中！



平昌冬季オリンピック



金4 銀5 銅4

おめでとうございます。

たかがい 恵美子の【2月】その他の主な活動

2/8 食品安全支援機構「第30回日本食品安全政策研究会」	2/15 司法制度調査会(性犯罪被害の保護・支援について)
2/9 党災害対策特別委員会	2/16 憲法改推進本部(合区解消・地方公共団体について)
2/10 埼玉県看護連盟リーダー研修会	2/17 富山県連支部女性の会
2/13 党再生可能エネルギー普及拡大委員会(東北エリアTF)	2/23 日本さくらの会
2/14 参議院資源エネルギーに関する調査会(海外派遣報告)	2/28 日華議員懇談会「台湾女性議員団との懇談会」